PRIMEQUEST 4000シリーズ ファームウェアアップデート 手順書

8版 2025年6月 エフサステクノロジーズ株式会社



はじめに 事前準備 ファームウェアアップデート手順 事後作業

1. はじめに (1/5)



1-1. 統合ファームウェアファイル

PRIMEQUEST 4000シリーズのファームウェアをアップデートする場合、統合ファームウェアファイルを使用します。 統合ファームウェアファイルは以下の2つのファームウェアが同梱されています。

- iRMCファームウェア
- BIOSファームウェア

ファイル名: PRIMEQUEST4000_FAnnnn.tar.gz

nnnn: 統合ファームウェア版数







1-2. ファームウェア更新

統合ファームウェアのアップデートが実行されると、筐体に搭載されている全てのiRMCファームウェアおよびBIOSが更 新されます。



1. はじめに (3/5)



1-3. パーティション状態

[注意事項]

ファームウェアアップデートが実行されている間は、該当パーティションの電源Offまたは電源Onを実施しないでください。

1. はじめに (4/5)



1-4. 新ファームウェア版数に切り替わるタイミング

新ファームウェア版数に切り替わるタイミングは以下に示す通りです。 ファームウェアアップデート開始時のシステム構成およびパーティション状態によって、新ファームウェア版数に切り替わ るタイミングが異なります。

ファームウェアアップデート開始時の パーティション状態	iRMC、BIOS版数の切り替わりタイミング
全パーティションPower Off (オフラインアップデート)	ファームウェアアップデートが完了した時
1つ以上のパーティションが、 BootまたはOS Runningの場合 (オンラインアップデート)	全パーティションがPower Off状態に遷移し、自動で開始されるファームウェアアップデートが 完了した時(*)

(*)ファームウェアアップデートを実行する際に、本体の統合版数がFA14002版以前の場合は各パーティションがPower Off状態に 遷移した時、意図せずPower Offしたパーティションへファームウェア更新を開始してしまうため、手動で全パーティションをPower Off する必要があります。詳細については、制限留意事項を参照してください。

ファームウェアアップデートにかかる時間については、1-5を参照してください。

1. はじめに (5/5)



1-5. ファームウェアアップデート時間

以下の構成におけるファームウェアアップデート時間を示します。

[SB x2台の場合]

- BIOS : 10
- iRMC : 20
- 合計 : 30
 - ※ 時間単位:分

いずれも目安時間であり、記載された時間でファームウェアアップデートが完了することを示すものではありません。

2. 事前準備(1/3)

- **Fsas Technologies**
- Web-UI を操作してファームウェアアップデートの一連の作業を実行するため、 作業期間中、管理LAN に接続した作業用パソコンを一台割りつけてください。
- iRMC Web-UI の Power Restore Policy が「Always power on」でない ことを確認してください。「Always power on」になっている場合は「Always power off」に変更してください。
- スケジュール運転機構を使用している場合、ファームウェアアップデートを行なう時間帯と、対象装置のスケジュール運転機構による電源操作スケジュールが重なっていないことを確認してください。スケジュールが重なっている場合、スケジュール運転を事前にオフにしてください。
- BIOSメニューのIntel TXT Supportが「Enabled」でないことを確認してください。 「Enabled」になっている場合は「Disabled」に変更してください。



2. 事前準備 (2/3)

- SBの正常確認について 装置に搭載されている各SBが正常であることを確認してください。
- FA14002版以前からFA15003版以降へアップデートする場合 事前にBIOSメニューの 「Boot」->「Boot Maintenance Manager」->「Boot Options]-> 「Delete Boot Option」にてブートオプションのエントリ総数が87個以内であることを 確認してください。
 87個以内の場合は「Discard Changes and Exit」を選択して 「Delete Boot Option」を抜けてください。
 87個を超えている場合は87個以内になるように設定を変更してください。
 87個を超えた状態でアップデートした場合はパーティションが起動できず以下のSELが ログされます。
 - 「BIOS POST Watchdog - Action: Timer Interrupt」
 - [BIOS POST Watchdog Action: Timer Interrupt]
 [BIOS POST Watchdog Action: Power Cycle (Post Code: 0x72)]

2. 事前準備(3/3)

- **Fsas Technologies**
- PRIMEQUEST 4000シリーズ 制限・留意事項一覧(※1) iRMC(44) FA15003版以前からFA16001版以降へアップデートする場合、 Web-UI>管理>詳細設定>パーティション設定において、SBおよびIOUを 「解放」に設定せず、空きパーティションに設定してください。 なお、FA16001以降では、SBおよびIOUに対して「解放」は選択できなくな ります。
 - ※1 PRIMEQUEST 4000シリーズ 制限・留意事項一覧は、以下のURLの 「PRIMEQUEST 留意事項」を参照してください。

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/prime quest/products/4000/catalog/

3.ファームウェアアップデート手順



ご案内

具体的なファームウェアアップデート手順はハードウェアマニュアル「iRMC S6 コン フィグレーションとメンテナンス」の「7.ファームアップデート」をご参照ください。



4.事後作業(1/6)

- スケジュール運転や「Always power on」を事前作業で解除していた場合は、 再度有効にしてください。
- Intel TXT Supportを事前作業で「Disabled」に変更していた場合、 「Enabled」に設定してください。
- PRIMEQUEST 4000シリーズ 制限・留意事項一覧 iRMC(38)に記載された問題はFA15003版以降で制限解除しています。 Bonding有効で使用したい場合は、Web-UI > 管理 > 詳細設定 > ネット ワークインターフェイス > 管理ネットワークインターフェイスで、「Bondingを有効に する」にチェックを付けてください。

4.事後作業(2/6)



- Windows Server 2022を使用している装置で、以下の条件で OEM Windowsライセンスが無効になりWindowsの再認証が必要になる場合があります。
 ※この時サーバは正常に動作しており機能制限もありません。
 - [条件] 統合ファーム版数がFA16001以前の装置で統合ファームアップを実行した場合 (FA17001版以降で制限解除しています)

[認証が切れた場合の画面表示]



6 BZ	- D X
ŵ #~L	ライセンス認証
設定の検索	P Windows
更新とセキュリティ	Tディンコン Windows SetVet 2022 Datacenter ライセンス読録 Windows はライセンス読録されていません
C Windows Update	
直 記信の業通化	このデバイスの Windows モライセンス認証できません。 Windows ガデバイスに ブレインストールされていたわのである場合は、デバイスの算法売た「問い合わせて
 Windows セキュリティ 	Windowsをライセンス認証するか、ストアにアクセスして正規の Windowsをお 買い来めください。エラーコード exc004f07C
∂ トラブルシューティング	Windows を今すぐライセンス認証する
<u>පි</u> බඹ	Windows の戸正規のコピーを実行すると、ウイルスやその他のセキュリティの商 城にさらされる危険性が高まります。
⊘ ライセンス問証	ライセンス認証に問題がある場合は、トラブルシューティングを選択して問題の解
職 開発者向け	決を飲みてください。
	C+ +37W2-7+27



対処

- OEMライセンスが無効となった場合は、OSを起動してプロダクトキーの入力をお願いします。 対象製品
- Microsoft Windows Server 2022 Standard イネーブルキット (16 コアライセンス)
- Microsoft Windows Server 2022 Datacenter イネーブルキット (16コアライセンス)

4.事後作業(4/6)

- ライセンス認証方法
 - 手順1 ライセンス認証が無効の場合、プロダクトキー(※2)の入力をお願いします。 Windowsの設定>システム>ライセンス認証>プロダクトキーの変更 (※2)プロダクトキー(25桁)は筐体後部側面COAラベル に記載されています。

• 手順2

Windowsライセンス認証の確認 Windowsの設定>システム>ライセンス認証>ライセンス認証 にてライセンス認証が有効であることの確認をお願いします。 有効の場合:「Windowsはライセンス認証されています」



Fsas Technologies

4.事後作業(5/6)



- ・参考 -プロダクトキー(25桁)の記載位置
 - ・「イネーブルキットのCOAおよびハイセイフティ用途」 に記載されている右の図の通り、筐体後部側面に COAラベルが貼付されています。

XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX(25文字の英数字)

メモなどで、プロダクトキーを記録している場合は、 そのプロダクトキーの入力をお願いします。

プロダクトキーを記録していない場合は、 ラックと筐体の隙間からCOAラベルが参照 をお願いします。



COAラベルは①→②→③→④の順に貼られます





COAラベル位置



スリムラック







